



## 目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、過去に例を見ない航空需要の大幅な減少が続き、航空運送事業に甚大な影響が生じています。

しかしながら、ワクチン接種や治療薬の開発等によるコロナ収束を見据え、経済復興に向けた空港や港湾、周辺施設の整備を推進していく必要があります。

本ウェビナーでは、アフターコロナを見据えた今後の取り組むべき課題、オール九州での路線誘致や振興を促進するうえで各県の空港間の連携のあり方について考えます。

**主催** ▶ 一般社団法人 九州経済連合会

## 開催日

2021年11月12日(金)

## 時間/会場

13:30～15:30 / ZOOM

## プログラム

申込方法※詳細は裏面をご覧ください  
WEBフォームよりお申込みください。  
■〆切:2021年11月10日(水)

13:30～14:15

### 第1部 講演

関西3空港の一体運営の歴史と今後の展望  
～2025年 大阪・関西万博に向けて～

14:20～15:30

### 第2部 トークセッション 九州の空港間連携・官民連携

お問い合わせ : (一社)九州経済連合会 観光社会基盤部 立川・上田・後藤  
TEL:092-791-4278

## 登壇者ご紹介

### 第1部 講演 公益社団法人 関西経済連合会 理事・地域連携部長 神田 彰 氏



#### <プロフィール>

1987年関西学院大学経済学部卒業、関西経済連合会入局。2003年、国際交流本部 都市・文化グループ次長、2009年地域連携部長を経て、2017年より理事。2019年5月より現職。担当する地域連携部では、空港や道路、北陸・リニア中央新幹線などの交通インフラ、地方分権・広域行政、国土政策、スポーツ振興などを所管。

### 第2部 トークセッション

#### コメンテーター(順不同)

慶応義塾大学  
商学部 教授  
加藤 一誠 氏



<プロフィール>  
1964年京都生まれ。1987年同志社大学経済学部卒業、2002年同大学経済学博士号取得。日本大学経済学部教授等を経て、2015年より慶應義塾大学商学部教授。専門分野は交通経済、特に、空港・航空・道路。国土交通省交通政策審議会委員(航空・陸上交通・海事分科会)を務める。近年、インフラのもつ近隣効果に注目し、地域を活かすためにインフラはどのようにあるべきかを考察している。

北九州市立大学  
大学院 教授  
幕 亮二 氏



<プロフィール>  
1991年早稲田大学大学院経済学研究科修了。同年、(株)三菱総合研究所入社、国や自治体の政策や事業計画策定、事前・事後評価業務に従事。集客・交流コンサルティングチームリーダー、空港民営化事業チームリーダーを経て、郷里の九州にUターンし2018年独立起業。専門分野は地域政策、交通・物流政策、PFI/PPPであり、九州各地をフィールドに、幅広い官民連携事業の推進を支援している。

公益社団法人 関西経済連合会  
理事・地域連携部長  
神田 彰 氏

#### モデレーター

一般社団法人 九州経済連合会  
観光社会基盤部長  
升本 喜之

#### 申込方法

下記登録用URL、または右下のQRコードにアクセスいただき、氏名、メールアドレス、会社(学校)名等を事前にご登録ください。

<登録用URL>

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_SlG89zIKSuKfT6rGjhRuVg](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_SlG89zIKSuKfT6rGjhRuVg)

※登録後、当日ウェビナーを視聴するためのURLがメールで送られてきます。

※一般社団法人九州経済連合会HPにも上記リンクを掲出しておりますので、ご利用ください。



#### 申込〆切

2021年11月10日(水)

お問い合わせ : (一社)九州経済連合会 観光社会基盤部 立川・上田・後藤  
TEL:092-791-4278